

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	札幌スポーツアンドメディカル専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養 専門課程	健康スポーツ科	夜・通信	117 単位	6 単位	
	スポーツトレーナー科	夜・通信	97 単位	6 単位	
	アスレティックトレーナー科	夜・通信	141 単位	9 単位	
	スポーツ保育科	夜・通信	104 単位	9 単位	
医療専門課程	鍼灸科	夜・通信	2486 単位時間	240 単位時間	
	柔整科	夜・通信	2483 単位時間	240 単位時間	
	鍼灸科	①夜・通信	2199 単位時間	135 単位時間	
	柔整科	①夜・通信	658 単位時間	135 単位時間	
(備考) 柔整科(夜)は、2018年度入学生より募集停止					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「実務経験のある教員等による授業科目一覧表」を職員室に設置し、広く一般に公開
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌スポーツアンドメディカル専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	H28.4.1 ~ R2.3.31	法務
非常勤	公認会計士	H29.4.1 ~ R2.3.31	財務
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌スポーツアンドメディカル専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2 月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。</p> <p>原則として法人統一の様式を使用し、客観的に分かりやすい「授業計画」「到達目標」「成績評価基準」を作成・公表している。</p> <p>公表はインターネットによる他、授業内で当該生徒へ説明する。また、習熟度等に応じて授業計画が変更される場合は、都度説明を行うものとする。(公表の時期は毎年度 4 月を目途とする)</p>	
授業計画書の公表方法	<p>https://www.sanko.ac.jp/sapporo-sports/pdf/school_information.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。</p> <p>科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。</p> <p>なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全履修科目の評定(5点法で示されたもの)の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回(期末ごとに)一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.sanko.ac.jp/sapporo-sports/pdf/school_information.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。</p> <p>なお、卒業を認める者については課程において設定した目指すべき人材像を満たすことを求める。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.sanko.ac.jp/sapporo-sports/pdf/school_information.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	札幌スポーツアンドメディカル専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
財産目録	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養分野		専門課程	健康スポーツ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	62 単位	80 単位	6 単位	3 単位	40 単位	129 単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
76人		55人	0人	25人の内数	41人の内数	66人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。

<p><健康スポーツ科の目指すべき人材像> インストラクターとして、主にグループレッスンに必要な知識・技術を身につけ、人々を惹きつける魅力あるレッスンを展開し、健康づくりのためのプログラム提供と運動指導ができる。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要) クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100%)	0人 (0%)	28人 (87.5%)	4人 (12.5%)
(主な就職、業界等) フィットネスクラブ・パーソナルトレーニングジム・リラクゼーション施設・チームトレーナー等			
(就職指導内容) 業界分野担当によるキャリア指導及び担任による面接・履歴書指導 業界人事担当における面接指導・企業による校内就職ガイダンス等			
(主な学修成果(資格・検定等)) JATI トレーニング指導者・健康運動実践指導者 フィットネスクラブ・マネジメント技能検定等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66人	4人	6.1%
(中途退学の主な理由) 目標喪失・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制及び定期的な面談を実施。保護者とも連携をとりながら中退防止へ努めている。また、各種アンケートや退学者へのアンケート結果から中退への傾向を把握し、対策をしている。 進路変更等の中退者へは本校他学科および姉妹校含め、再進学等への対応もしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養分野		専門課程	スポーツトレーナー科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	62 単位	65 単位	6 単位	6 単位	33 単位	
			110 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
76人		118人	0人	25人の内数	41人の内数	66人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。</p> <p>科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。</p> <p>なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。</p> <p><スポーツトレーナー科の目指すべき人材像></p> <p>トレーナーとして、主に個に対応するレジスタンストレーニングやコンディショニング、及び機能改善に必要な知識・技術を身につけ、それらのスキルを活かして、幅広い層・目的に応じたトレーニングプログラムの作成、指導ができる。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
66人 (100%)	0人 (0%)	63人 (95.5%)	3人 (4.5%)
（主な就職、業界等）フィットネスクラブ・パーソナルトレーニングジム・リラクゼーション施設・チームトレーナー等			
（就職指導内容）業界分野担当によるキャリア指導及び担任による面接・履歴書指導 業界人事担当における面接指導・企業による校内就職ガイダンス等			
（主な学修成果（資格・検定等））JATI トレーニング指導者・健康運動実践指導者 フィットネスクラブ・マネジメント技能検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
128人	8人	6.3%
（中途退学の主な理由） 目標喪失・進路変更・家庭環境		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制及び定期的な面談を実施。保護者とも連携をとりながら中退防止へ努めている。 また、各種アンケートや退学者へのアンケート結果から中退への傾向を把握し、 対策をしている。 進路変更等の中退者へは本校他学科および姉妹校含め、再進学等への対応もしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養分野	専門課程	アスレティックトレーナー科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼夜	93 単位	110 単位	5 単位	7 単位		39 単位
	昼間		161 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
114人	134人	0人	25人の内数	41人の内数	66人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。 作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、 2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。

成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。</p> <p>科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。</p> <p>なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。</p> <p><アスレティックトレーナー科の目指すべき人材像></p> <p>アスレティックトレーニング学の知識を有し、アスレティックトレーナーとしてスポーツ・医療・健康・教育現場、すべての分野でプロフェッショナルに活躍できる。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
28 人 (100%)	6 人 (21.4%)	19 人 (67.9%)	3 人 (10.7%)
(主な就職、業界等) フィットネスクラブ・パーソナルトレーニングジム・リラクゼーション施設・チームトレーナー・病院等			
(就職指導内容) 業界分野担当によるキャリア指導及び担任による面接・履歴書指導 業界人事担当における面接指導・企業による校内就職ガイダンス等			
(主な学修成果(資格・検定等)) JATI トレーニング指導者・健康運動実践指導者 アスレティックトレーナー・健康運動指導士等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
135 人	13 人	9.6%
(中途退学の主な理由) 目標喪失・進路変更・家庭環境等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制及び定期的な面談を実施。保護者とも連携をとりながら中退防止へ努めている。また、各種アンケートや退学者へのアンケート結果から中退への傾向を把握し、対策をしている。 進路変更等の中退者へは本校他学科および姉妹校含め、再進学等への対応もしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養分野		専門課程	スポーツ保育科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼夜	93 単位	73 単位	11 単位	15 単位	22 単位	
	昼間		121 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
114 人		43 人	0 人	25 人の内数	41 人の内数	66 人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 コンディショニング、及び機能改善に必要な知識・技術を身につけ、それらのスキルを活かして、幅広い層・目的に応じたトレーニングプログラムの作成、指導ができる。 <スポーツ保育科の目指すべき人材像> 幼稚園や保育園、幼児体育施設などの先生として、こどもの発育発達を理解し、運動遊びや体操指導を通して、こどもの個性・成長を総合的にサポートすることができる。

学修支援等
(概要) クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	11人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 保育園・幼稚園・幼児体育教室等			
(就職指導内容) 業界分野担当によるキャリア指導及び担任による面接・履歴書指導 業界人事担当における面接指導・企業による校内就職ガイダンス等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 保育士・幼稚園教諭二種免許状・社会福祉主事任用資格等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	2人	5.6%
(中途退学の主な理由) 目標喪失・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制及び定期的な面談を実施。保護者とも連携をとりながら中退防止へ努めている。また、各種アンケートや退学者へのアンケート結果から中退への傾向を把握し、対策をしている。 進路変更等の中退者へは本校他学科および姉妹校含め、再進学等への対応もしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療分野	専門課程	鍼灸科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2660 単位時間	1776 単位時間		180 単位時間		704 単位時間
			2660 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
81人	62人	0人	25人の内数	41人の内数	66人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 <鍼灸科の目指すべき人材像> 明るく挨拶ができ、コミュニケーション能力が高く協調性があり、痛みを訴える患者に対して適切な判断を行い、施術を行える人材。
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12 人 (100%)	0 人 (0%)	11 人 (91.7%)	1 人 (8.3%)
（主な就職、業界等）鍼灸治療院・整骨院・スポーツクリニック等			
（就職指導内容）業界分野担当によるキャリア指導及び担任による面接・履歴書指導 業界人事担当における面接指導・企業による校内就職ガイダンス等			
（主な学修成果（資格・検定等））JATI トレーニング指導者・はり師・きゅう師等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56 人	6 人	10.7%
(中途退学の主な理由) 目標喪失・進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制及び定期的な面談を実施。保護者とも連携をとりながら中退防止へ努めている。また、各種アンケートや退学者へのアンケート結果から中退への傾向を把握し、対策をしている。 進路変更等の中退者へは本校他学科および姉妹校含め、再進学等への対応もしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		専門課程	柔整科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	2756 単位時間	1520 単位時間		180 単位時間	1056 単位時間	
			2756 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
81 人		73 人	0 人	25 人の内数	41 人の内数	66 人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目標に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 <柔整科の目指すべき人材像> 豊富な知識と正しい技術を身につけ、患者の心に寄り添える人間性も兼ね備えた人材。

学修支援等 (概要) クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	1人 (4.2%)	22人 (91.6%)	1人 (4.2%)
(主な就職、業界等) 整骨院・整形外科・スポーツクリニック等			
(就職指導内容) 業界分野担当によるキャリア指導及び担任による面接・履歴書指導 業界人事担当における面接指導・企業による校内就職ガイダンス等			
(主な学修成果(資格・検定等)) JATI トレーニング指導者・柔道整復師等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77人	6人	7.8%
(中途退学の主な理由) 目標喪失・進路変更・ 家庭環境等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制及び定期的な面談を実施。保護者とも連携をとりながら中退防止へ努めている。 また、各種アンケートや退学者へのアンケート結果から中退への傾向を把握し、 対策をしている。 進路変更等の中退者へは本校他学科および姉妹校含め、再進学等への対応もしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療分野	専門課程	鍼灸科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
3年	夜間	2662 単位時間	1970 単位時間	180 単位時間	512 単位時間
			2662 単位時間		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
81人	30人	0人	25人の内数	41人の内数	66人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 <鍼灸科の目指すべき人材像> 明るく挨拶ができ、コミュニケーション能力が高く協調性があり、痛みを訴える患者に対して適切な判断を行い、施術を行える人材。
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	4 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）鍼灸治療院・整骨院等			
（就職指導内容）業界分野担当によるキャリア指導及び担任による面接・履歴書指導 業界人事担当における面接指導・企業による校内就職ガイダンス等			
（主な学修成果（資格・検定等））JATI トレーニング指導者・はり師・きゅう師等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制及び定期的な面談を実施。保護者とも連携をとりながら中退防止へ努めている。また、各種アンケートや退学者へのアンケート結果から中退への傾向を把握し、対策をしている。 進路変更等の中退者へは本校他学科および姉妹校含め、再進学等への対応もしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		専門課程	柔整科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜間	2753 単位時間	1757 単位時間		180 単位時間	816 単位時間	
			2753 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
81人		5人	0人	25人の内数	41人の内数	66人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入した5点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は1とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 <柔整科の目指すべき人材像> 豊富な知識と正しい技術を身につけ、患者の心に寄り添える人間性も兼ね備えた人材。

学修支援等 (概要) クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	13人 (68.4%)	6人 (31.6%)
(主な就職、業界等) 整骨院・整形外科・スポーツクリニック等			
(就職指導内容) 業界分野担当によるキャリア指導及び担任による面接・履歴書指導 業界人事担当における面接指導・企業による校内就職ガイダンス等			
(主な学修成果(資格・検定等)) JATI トレーニング指導者・柔道整復師等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	1人	4%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制及び定期的な面談を実施。保護者とも連携をとりながら中退防止へ努めている。また、各種アンケートや退学者へのアンケート結果から中退への傾向を把握し、対策をしている。 進路変更等の中退者へは本校他学科および姉妹校含め、再進学等への対応もしている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
健康スポーツ科	100000 円	680000 円	358000 円	
スポーツトレーナー科	100000 円	680000 円	369000 円	
アスレティックトレーナー科	100000 円	680000 円	391500 円	
スポーツ保育科	100000 円	650000 円	296250 円	
鍼灸科 (昼)	100000 円	700000 円	648430 円	
柔整科 (昼)	100000 円	700000 円	592930 円	
鍼灸科 (夜)	100000 円	600000 円	592420 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/sapporo-sports/pdf/kankeisyahyouka_sapporo.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育理念・目標、学校運営、学修成果、学生支援等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。</p> <p>学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ルネサンス	2019/4/1～2020/3/31	関連業界関係者
フリーランスインストラクター	2019/4/1～2020/3/31	卒業生
シミズビルライフケア	2019/4/1～2020/3/31	関連業界関係者

学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/sapporo-sports/pdf/kankeisyahyouka_sapporo.pdf
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/sapporo-sports/
--